

## 大型船と小型船の衝突事故が発生しています！

平成26年1月、広島県大竹市阿多田島東方沖で大型の自衛艦と小型のプレジャーボートが衝突し、プレジャーボートの乗船者2人が亡くなる事故が発生しました。

この衝突事故は、プレジャーボートが針路を変えて自衛艦の船首至近に接近し、自衛艦が回避動作をとったところ、更に両船が接近したことで発生したものと考えられます。

本事例の調査報告書は当委員会ホームページで公表しております。(平成27(2015)年2月9日公表)  
[http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2015/MA2015-2-1\\_2014tk0001.pdf](http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2015/MA2015-2-1_2014tk0001.pdf)

大型船には次のような特性があります。  
このような特性を十分理解して安全運航に努めましょう。

### 1 旋回性能が小型船舶と大きく異なります

運動性能が低く、かじ効きが悪いので、すぐに曲がりません。  
すぐに止まることもできません。



### 2 見かけより高速で航行していることがあります

十分離れていると思っていても、気付いたらすぐ近くにいる場合があります。  
また、引き波(航走波)も大きく、吸引作用が働いて近くのを引き寄せることがあります。



### 3 船首が高く、前方の死角が大きい場合があります

大型船舶の船橋から、小型船舶が見えないこともあります。

### 4 喫水が深いため、水深が浅い水域では航行できません

航路の外側を航行できないなど、航行する水域が制限されます。

小型船舶は航行中の大型船舶にできるだけ近寄らないようにしましょう。

また、沖で大型船舶に遭遇したら、早めに距離をとり、進路を横切るような航行はできるだけやめましょう。